

ユネスコ文化講座

「ハプスブルク・コレクション ウィーン美術史美術館の至宝」

2020年1月16日(木) 13:30~15:30 めぐるパーシモンホール小ホール

主催:目黒区教育委員会 主管:NPO 法人目黒ユネスコ協会 参加:149名

講師:西洋美術史家 木村 泰司 氏



ウィーン美術史美術館は、オーストリア、ウィーンにある世界最大級の美術館の一つ。ハプスブルク家代々のコレクションを基礎とし、その歴史はマクシミリアン1世までさかのぼる。本格的な収集が始められたのは、皇帝ルドルフ2世の時代で、ピーテル・ブリューゲル(父)等の名作を買い、1659年世界初の美術コレクションの図版入りカタログを作らせた。18世紀に入ってから、女帝マリア・テレジアは、ルーベンス、ヴァン・ダイクなどを加え、1781年、コレクションは一般公開された。この時初めて市民が絵画芸術に触れたことになる。今日のルネッサンス風の建物は1891年に建てられた。ルネッサンスから19世紀に至るまでのヨーロッパの巨匠の作品1000点以上を網羅する。

木村氏は、絵画の古典規範として、ラファエロの『ベルヴェデーレの聖母』を例に取られた。聖母マリアの服の赤は慈愛、青は叡知を示す。傍らには聖ヨハネの持つ十字架を握る幼子イエス。三角形の構図は31歳年上のレオナルド・ダ・ヴィンチから、と解説。



絵画を感性で見るのではなく、時代背景から読み解く知識が必要。歴史(Histoire)という語は、歴史という意味もあるが物語という意味もあり、物語を伝えるために生まれたのが絵画である、と優しく説く。それを踏まえてベネチア派絵画の色彩の美しさの所以も解説。ジョルジオーネの『ラウラ』『矢を持つ少年』、ティツィアーノの『サクランボの聖母』『ジプシーの聖母』、ヴェロネーゼの『東方三博士の礼拝』等詳しい解説が続く。

神話画家コレッジョの『ユピテルとイオ』『ガニュメデスの略奪』から、神話の変身物語を解説。神話の神ユピテルが鷲に変身して少年にお酌をさせるのが、星座となって、鷲座の横に水瓶座があるという。ラテン文学の「変身物語」はヨーロッパの上流社会では必須の教養だそうだ。

また、この美術館で最も有名なブリューゲルの『バベルの塔』『雪中の狩人』、北ヨーロッパで最も成功した画家ルーベンスの『毛皮をまとったエレヌ・フルマン』、当時では珍しい女性画家であるヴィジェ・ブランの『マリー・アントワネット』等々、限られた時間の中で出来るだけ多くの芸術

作品を詳しく読み解いて下さった。《美術鑑賞を楽しむ為には、まず個人の主観を省き、好き嫌いで鑑賞することを止め、何が美しいのかを学び、時代背景を知ることによって、絵画、建築、彫刻は私たちに語りかけてくれるようになります》という木村先生の熱い言葉だ。全てをととても書ききれないが、目から鱗のこの講演に感謝したい。

広報 山田 峰子

令和初の新年会

2020年1月18日(土) 12:30~15:00

五本木小学校ランチルーム 参加: 58名



前日の天気予報では降雪が報じられていた。雨模様で厳しい寒さではあったが温かい心を持ったユネスコ会員が次々と集まって12時半に開会となった。目黒区からは青木区長、関根教育長、ユネスコ会員である都議、区議の皆様、緑が丘文化会館関口館長をお迎えした。

宮下会長の年頭の挨拶に続き、“コスモス“の子供たちの心が洗われる歌声で一気に会場が和んだ。加藤玲子名誉会長の乾杯の発声で会食が始まり、新年にふさわしい大阪ずしの折を手にしながらかん談、テーブルには会員手作りのご馳走が並び会話が弾んでいた。

恒例の活動紹介タイムに移り、青年会員の石井貴大さんの映像を使っての分かり易い説明、日本語教室のフレンドシップメンバーや各種語学教室で楽しく勉強をしている方達の挨拶があった。続いて初めての試みとしてユ



ネスコに相応しい「世界遺産クイズ」が行われた。秋枝シュザンヌさんと雲野右子さんの出題に対して正しいと思う三択の答えに挙手をし、全7問のうち正解の多い方から賞品を選べるというもの。英語での説明も付きフレンドシップメンバーも子供達も参加でき、ワクワクしながらも真剣に取り組んでいたようだ。

★問題の一つをご披露すると、「女人禁制だった富士山に初めて登った女性の作戦は?」。正解は「ちょんまげ姿で男性のふりをした」。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、望月副会長の閉会の挨拶、3本締めでびたりと息が合い、今年のユネスコ活動もワンチームとなって進めていこうという気持ちと共に開きとなった。

この催しに協力、参加して下さった皆様、ありがとうございました。 交流委員長 濱岡 位久子

日本語学習者が 田道小学校の1年生と交流



ユネスコ日本語教室の学習者とスタッフが、1月28日(火)の授業後、田道小学校を訪問して1年生3クラスの児童と給食を一緒に頂き、折り紙などをして楽しく交流した。

前日の天気予報では23区も雪が積もる可能性があるとのことで心配していたが、当日は夜中から雨になり雪を見ないで済んだ。朝コースの授業が終わった12時に学校サポートセンターの玄関に集まり、引率のスタッフも含めて16名が、雨の降るなか目黒川沿いに田道小学校へ。

副校長先生のお出迎えを頂き、控室に通されご挨拶の後、3つのグループに分かれ案内の子供たちの先導で教室へ。学習者等訪問者の数に合わせて小グループの机が寄せてあり、グループごとに自己紹介し合い、すぐ給食を頂いた。先生の合図で手を合わせて「いただきます」と。学習者は戸惑

いながらも真似て食事になった。献立はクリームをはさんだパン、カレー味のポーク・シチュウ、キャベツのサラダと牛乳だった。学習者の一人はポークが食べられないので弁当を持参していた。最後に全員で「ごちそうさまでした」。次に、使った食器などを片づけ係の待っているところへ並んで持って行き終了。

外は雨なので教室内で自由遊び。お手玉や、けん玉など遊び道具もそろっていて、学習者は子供たちに教わりながら一緒に楽しんだ。次に新聞紙が出され、カブト作りの折り紙だ。子供達に教わりながら折っていくと出来ました。早速かぶって出来栄を確認し、子供と一緒にピースをして大きな笑顔で写真を撮り合った。あっという間に時間が来てしまい、最後に子供達が「お礼の歌」を唄ってくれた。歌詞の最後はシーユー(see you!)だった。

控室に戻った学習者に感想を聞くと、「とても楽しかった」、「子供達が可愛かった」、「また来たい」などと嬉しそうに話してくれた。皆さんありがとうございました。

日本語教育活動委員長 爲季 繁

ユネスコ理数教室 「宇宙の不思議を体験しよう！」

2020年1月19日(日)14:00~16:00

目黒区東山社会教育館 参加：小中学生20名、保護者16名
主催：目黒区教育委員会 主管：NPO法人目黒ユネスコ協会
講師：木村亮仁氏（合同会社Yspace 教育事業マネージャー）

今日の授業はVR(バーチャルリアリティ)の技術を使った理科教室として最先端の授業を展開している会社が講師を担当。宇宙ステーションの写真が表示され、宇宙ステーションでの仕事の話になると、子供たちから沢山の質問が飛び出してくる。「宇宙ステーションの大きさは？」と質問すると、「100m」「2km」など様々な答えがくる。講師から太陽光パネルを含めると「サッカー場一面の広さ」と教わり、チョット感じがつかめない様子。

宇宙での様々な仕事について子供たちに質問してみると、「昼に宇宙食を食べている」「植物や生き物を育てて、その状態を観察」などの答えが返ってくる。中には、宇宙の基地の話になると「月に基地を作るとき、勝手に月まで行って作っていいのですか？」と、とてもユニークな質問もでる。子供たちの活発な質問や意見に、講師も嬉しそうだった。また、子供たちの知識の豊富さにも驚かされる。

その後、VRの装置を使って、「宇宙を体験してみよう！」



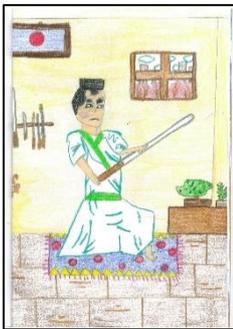
が始まる。VRでやり投げをして、槍のとび具合の違いが、重力の違いと関係する事を体験してみたり、月面都市を旅行して都市の様子を見てみると宇宙人に遭遇する事があり、子供が「あ！いた」と喜ぶ。実技も終了

して子供たちの興奮は冷めやらない。

最後に重力の説明があり、「月ではやり投げが簡単に飛ぶけど、地球では簡単には遠くに飛ばない。」「地面に引っ張られる力が、月は地球より弱い。」等を聞いて納得の様子。

最後に楽しくみんなで記念写真。子供たちは授業の内容に満足したのか、とても明るい良い笑顔で集合写真に納まっていた。

授業が終わった後に、VR体験をもう一度したい子供のために、授業延長をしていたが、子供たちの長蛇の列が出来るほど、人気だった。将来この授業を受けた子供たちの中から宇宙飛行士や天文学者など将来を背負うような人が出てくる事を楽しみに見守りたい。 広報 佐藤 研治



コスモス通信 イタリアの子どもたちからの絵

内田洋子さんの『モンテレッジオ小さな村の旅する本屋の物語』の本から五本木小学校の子供たち、地球クラブコスモス、太鼓の子供たちなどと、絵の交流が始まりました。イタリアといえども、本当に山奥の村、あるのは、栗、刃物の研ぎ石、本屋のみ。ところが、その何も無いと言われた村は、本屋大賞の発祥の地であり、最初の受賞者はヘミングウェイだったという村でした。その村から、作品が届きました。時々、皆さんに、お届けいたします。楽しみにしてください。

会長 宮下 晶子

2019年度 支援通信 温かいご支援に感謝申し上げます。



- 東日本大震災支援/気仙沼市立月立小学校の伝統芸能グループ招待
* 目黒 SUN 祭り会場で演舞披露と前日交流会
- 読書のめぐみ運動/栃木女子刑務所へ日本出版クラブを通じて外国の本を寄贈
- 台風19号被災地支援募金・街頭募金（青年会員・五本木小児童参加）
- 沖縄の世界遺産「首里城」復興ユネスコ募金
- 難病支援 ①がんでの子供を守る会、②再生つばさの会、③日本骨髄バンク
- 「平和の特派員/広島」目黒区活動に千羽鶴寄託
- スカラシップ教育支援/公財) 民際センターのダルニー奨学金を通してタイの子どもたちに教育支援を20年以上継続。(写真左2枚)
- 書きそんじハガキ回収キャンペーン/ユネスコ世界寺子屋運動
- JIM-NET チョコ募金支援協力/イラク医療支援募金
- ♥目黒ユネスコ協会は、共に生きる地域社会やユネスコの平和活動に、貢献できることを信じ、今年度も様々な支援を行っております。皆さまのご協力よろしくお願いいたします。



●都ユ連研修会「世界文化遺産と近現代建築」

—都内の世界文化遺産を考える

日時:2020年2月23日(日)14:30~16:30

場所:渋谷男女平等・ダイバーシティセンター(アイリス)

講師:山名善之氏(東京理科大学教授)

「国立西洋美術館 世界遺産登録の舞台裏」

豊川斎赫氏(千葉大学准教授)

「世界遺産登録を目指す国立代々木競技場」

申込み・問合せ:事務局(斉藤)まで。

ご寄付をありがとうございました!

★台風19号被災地支援募金 92,004円

★首里城復興ユネスコ募金 32,000円

お陰さまで多くのご寄付をいただきました。

『台風19号被災地支援募金』につきましては1月末に終了し、目黒区の友好都市である「宮城県角田市」に送金いたしました。

『首里城復興ユネスコ募金』は引き続き、皆様からのご厚志を受け付けております。

皆様のご協力で心より感謝申し上げます。

★ユネスコ文化講座 ③

インドでの原体験と三現主義のススメ

～進むべき道は 現場・現物・現実が教えてくれる～

日時:2020年3月6日(金)15:00~16:30

会場:中目黒GTプラザホール

講師:佐藤 美樹(よしき)氏(日本ユネスコ協会連盟会長・

文部科学省日ユ国内委員会委員・朝日生命保険相互会社会長)

対象:どなたでも、目黒区内在住・在勤・在学者優先

定員:70名(先着) 参加費:無料

申込方法:Fax・HP・メールで、『3/6ユネスコ文化講座』氏名・住所・

電話番号・同行者名を明記の上、当事務局まで。締切り:3月4日(水)

*目黒ユネスコ協会ホームページ(HP)のWeb申込みが簡単です。

まずは、「目黒ユネスコ協会」で検索してください。

*全員に案内返信いたします。

活動日誌 1月

★1/7(火)日本語教室2020冬期教室開始

■1/8(水)ショートニュース(No345)発送&連絡会

★1/16(木)ユネスコ文化講座②

■1/18(土)ユネスコ新年会

★1/19(日)ユネスコ理数教室(宇宙体験)

■1/20(月)~1/31(金)書きそんじハガキ回収キャンペーン

■1/27(月)第5回運営委員会

■語学教室 仏2、韓1、伊1、英1、独1、西1、中1

▲日本語教室:週4回(火木曜午前・火曜夜・土曜午前)

2月以降の予定

★2/6(木)ユネスコ美術教室(絵画)開始

■2/12(水)ショートニュース(No346)発送&連絡会

★2/14(金)ユネスコ美術教室(陶芸)開始

■2/20(木)日本語交流サロン「目黒雅叙園 百段雛祭り見学会」

●2/23(日)都ユ連研修会「世界文化遺産と近未来建築」

★3/6(金)ユネスコ文化講座③

■3/18(水)ショートニュース(No347)発送&連絡会

■4/25(土)通常総会(予定)

■5/22(金)目黒ユネスコチャリティコンサート2020

■ 目黒ユネスコ協会主催

▲ 目黒ユネスコ協会の関連機関・団体との協力事業

● 目黒ユネスコ協会の関連機関・団体との共催事業

★ 目黒区教育委員会からの受託事業

事務局は
月曜~金曜/13時~16時
スタッフが対応します

「首里城再築・災害復興」

目黒ユネスコチャリティコンサート2020

GONTITI (ゴンチチ)

～次世代への平和と文化のメッセージ～

収益は国内外の災害復興支援などのユネスコ活動に充てられます

2020年5月22日(金)

開場18:30 開演19:00

会場:めぐろパーシモンホール 大ホール

チケット発売開始日:2月22日(土)

e+イープラス・めぐろパーシモンホールチケットセンターおよび
目黒ユネスコ協会HPにてお求めください。

*小学生無料招待(先着100名)は4月8日(水)午前10時より、
目黒ユネスコ協会HPの“Web申し込み”にて受付を開始します。

*会員券・引率券(小学生無料招待に伴う)は 目黒ユネスコ協会HP
にてのみの取扱いになります。

*GONTITI(ゴンチチ)は、ゴンザレス三上とチチ松村による
インストゥルメンタル・アコースティック・ギターデュオ。

1978年結成、1983年のデビュー。

幅広い人々に愛される音楽をお楽しみください!

■新入会員 どうぞよろしく!(敬称略)

(正会員) 須貝 奈津代 後藤 しげ子 関 恵子

(フレンドシップメンバー:FM) 登録者数(1月現在) 155名

NPO法人目黒ユネスコ協会 会報誌PDF版

SHORT NEWS ショートニュース 最新版

当協会HPも充実!
(PC版・スマホ版共)
『目黒ユネスコ協会』で
検索してください!